

金澤英明 × 栗林すみれ duo

初 CD 「二重奏」 リリースツアーのご案内

百戦錬磨のベーシスト金澤英明が惚れ込んだピアニスト栗林すみれと彼の duo は、毎日にその音世界が広がり、完成度を高め、熟成され、今、ひとつの極みに達したと言える。ふたりの音楽観が重なり合うことで更に広がる音、個々の力量に裏付けされた完成度の高い音、そして回を重ねることで熟成された滋味溢れる音。金澤英明は渡辺貞夫、日野皓正など日本を代表するアーティストのレギュラーベーシストを務めてきた重鎮として知られているが、若い栗林すみれについてはご存じない方も多いかと思う。独特の世界観をもつ彼女の素晴らしさをうまく説明するのは難しく、長く彼女ライブを主催しているライブハウスオーナーの言葉から感じ取って頂ければと思う。

「良い音楽、良い演奏を聴いた時のその素晴らしさを言葉で表すのは難しいことで、栗林すみれのピアノの素晴らしさを言葉で表すのもまた大変難しいこと～、ただ言えるのはオリジナルであれスタンダードであれ、この人の手にかかったらそれはどんな曲でさえただの素材に過ぎず、どんな曲を演奏してもそれは栗林すみれの世界として表現され、それは唯一無二の躍動感溢れる素晴らしい世界となって聴く者を圧倒するという。アップテンポでもバラードでも、目を閉じて聴いているとそれは上質な ECM のピアニストたちの世界、そう、それはあたかもキースのようであり、ボボ・ステンソンのようであり、またステファノ・バターリアのようでもあり、、栗林ピアノはそういった一連の ECM のピアノトリオの CD を聴いている時と同じようなある種完成された音楽を聴くという至福の世界に連れて行ってくれました。(以下略)」

絶妙な絡み合いの妙を堪能させてくれるふたりのライブは、あたかも一流の料理人が目の前で調理する一皿を供されるようにこのうえなく愉しく、そこには基本と意外性が同居し、他のどこでも味わえない、ため息が出るような幸福感をもたらしてくれる。

「その場にだけ出現する音宇宙」・それがふたりの音楽に相応しい表現でしょうか。

昨年初冬、ふたりは雪の北海道の山中に籠もって初録音をしました。しんと降り続ける雪が楽器を絶妙に鳴らし、スタッフ共々寝食を共にした空間には彼らだけにしか創り得ない小宇宙が出現し、そのすべてが珠玉の一枚に結実しました。3月にリリースされる至福の音たちを携え、この度全国をツアーすることになりました。このツアーで、心あるジャズファンが静かなる「スター誕生」に気付いてくれることを祈ります。



東北・北海道スケジュール

5～6月 東北ツアー

7～8月 北海道ツアー

ツアー制作：アプローズ
011-272-2221 / apls@me.com

